



留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	日本円	備考
授業料	0	0円	大学間協定留学のため学費負担なし
宿舍費	12504	1750000円	
食費	6000	800000円	
図書費	50	7500円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	150	17000円	
現地交通費		円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	2000	250000円	
被服費	300	40000円	
医療費		円	
保険費	760	90000円	形態:海外旅行保険(明大サポート)
渡航旅費		340000円	
ビザ申請費	350	35000円	
雑費	500	50000円	
その他		円	
その他		円	
合計	33445	3344500円	

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:成田空港 目的地:フィラデルフィア国際空港 経由地:シアトル	
復路 出発地:フィラデルフィア国際空港 目的地:成田空港 経由地:ボストン	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:日本航空 料金:34万円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL 公式サイト) <input type="checkbox"/> その他( )	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前: Temple Towers) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 5 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

テンプル大学のウェブサイト

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

必要な設備とセキュリティがととのっている。ベッドルームは二人で共有するが、1フラットでの定員が多いので、プライベートな時間は確保しにくい。Temple Towers のような大学内の寮ではなくて、オフキャンパスの寮も大学に近く、設備もかなり充実しているので、探してみるのもいいと思う。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし  
あり(治療を受けた場所: )2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。  
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)なし  
あり(問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学から防災情報がテキストで送られてくる。犯罪に巻き込まれたことはない。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の Wifi は問題なく使えた。大学構内であれば、どこでも問題なく Wifi が使える。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を開設したが、親に送金はしてもらわなかった。アメリカの講座は、友達間でお金をやり取りする際に使った。日本

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

箸、爪切り、耳かき

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
International Politics		国際政治
科目設置学部・研究科	political science	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	Souradeep Banerjee	
授業内容	国際政治の基礎	
試験・課題など	コメントシート、最終レポート	
感想を自由記入	国際政治の基礎をセオリーから学ぶことができて大変勉強になった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Gender in America		アメリカのジェンダー
科目設置学部・研究科	Sociology	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に50 分が3回	
担当教授	Amanda M. Czerniawski	
授業内容	アメリカにおいてジェンダーがどのように考えられているのか。ジェンダーをめぐる議論を学ぶ	
試験・課題など	3つの課題と、2回の試験	
感想を自由記入	アメリカでのジェンダーをめぐる問題、ジェンダーがどのように受け入れられているのかについて勉強した。日本と通ずるところを発見したり、学生の新鮮な意見を聞いたことが興味深かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Development and Globalization		発展とグローバルゼーション
科目設置学部・研究科	Sociology	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	Lu Zang	
授業内容	グローバルゼーションに伴う「発展」の行き着く先は何かについて学ぶ	
試験・課題など	一週間に二回のリーディングリスポンスとテスト	
感想を自由記入	秋学期で一番興味深い授業であった。授業前にリーディングが課されて、その要約や自分の考えを毎回提出しなければならず、課題は重かったが内容が重い s ろかった。私たちが当たり前のように考える「発展」は人々に本当の幸せをもたらすものなのか。そして経済格差について学んだ。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Global Citizenship		グローバル市民になるには
科目設置学部・研究科	Global Program	
履修期間	秋学期	
単位数	1	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に80分が1回	
担当教授	Sarah Godwin	
授業内容	世界を取り巻く問題について生徒同士で議論しあう	
試験・課題など	3, 4回の小課題	
感想を自由記入	留学生のみで行われる授業で、明案顔見知りだったので、とても和やかな雰囲気だったが、授業内容としては、そこまでためにならない。ただ、各国の料理を持ち合ったりして、文化交流の場になっていた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
The History and Significance of Race in America		アメリカにおける人種の歴史と重要性	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に80分が2回		
担当教授	Dr. Peters		
授業内容	アメリカの人種の歴史をリーディングや映画を通して学ぶ		
試験・課題など	グループでのプレゼンテーション、2回のテスト		
感想を自由記入	様々な人種が入り乱れているアメリカならではの授業だったと思う。どのようにその歴史が形成されたかを学ぶのはとても興味深かった。ただプレゼンテーションやグループワークがかなり多く、それが負担になるときもあった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to the American Political System		アメリカ政治システム	
科目設置学部・研究科	political Science		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Michael Hagen		
授業内容	アメリカ政治を基礎から学ぶ		
試験・課題など	3回のテストとレポート		
感想を自由記入	アメリカ政治を全く知らない状態から学んだので、苦戦することもあり、最初のテストは芳しい成績を得ることができなかった。しかしオフィスアワーを使ってわからないところをとことん解消し多くのことを学べた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Public Speaking		パブリックスピーキング
科目設置学部・研究科	Communication and Social Influence	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に80分が2回	
担当教授	Olivia Cohen	
授業内容	パブリックスピーキングにおいて効果的な方法を実際に発表することを通して学ぶ	
試験・課題など	5回のプレゼン	
感想を自由記入	プレゼンの方法だけでなく、どのようにプレゼンを作っていくのか、その調査方法も学ぶことができた。毎回のプレゼンでかなり緊張し、ストレスになることもあったが、結果的に大きく成長することができたように思う。1	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Inter Cultural and Cross Cultural Conflict		文化間・異文化間の対立
科目設置学部・研究科	Communication and Social Influence	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	Quaiser Abdullah	
授業内容	文化間、異文化間の対立はなぜ起こるのかについて様々なセオリーから分析する	
試験・課題など	小課題と最終レポート	
感想を自由記入	教授がかなり理解のある人で、様々な相談に乗ってもらった。授業中はグループワークも多く、みんなが自分の意見を発信しやすい環境だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
East Asia and the United States		東アジアとアメリカ	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授			
授業内容	東アジアとアメリカ、また世界各国の政治的な関係を見る。特に日本の高度経済成長、その他東アジア諸国(韓国、台湾、シンガポール)の経済成長の特徴について学ぶ。		
試験・課題など	試験は中間考査がオープンブックで実施された。 課題は2週間に二回のリフレクションペーパー(600字程度)と最終ペーパーが10ページ程度		
感想を自由記入	日本の経済成長や文化、社会問題な度かなりフォーカスされていたので、内容にもなじみがあったのと同時に、自分が知らないこと、特にアメリカをはじめとした他国からの視点で、日本をみることはかなり興味深かった。比較的 advanced のクラスだったので、生徒の参加度もかなり高かったのと同時に、教授の話し方や授業の進め方がかなり学生を惹きつけるものであった。東アジアの経済成長、さらに現在の東アジアを取り巻く問題に関心のある人にはかなりおすすめの授業である。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Volleyball		バレーボール	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授			
授業内容	バレーボールお初歩的な技術を学び、試合をする。		
試験・課題など	試験はない。課題はエクストラポイントををもらえる課題がいくつかあった。		
感想を自由記入	身体を動かしたかったのと、友達を作れるのではないかという思いから受講した。実際、生徒、先生ともに大変いい人たちで、バレーボール初心者の私でも楽しむことが出来た。スポーツのクラスはこれ以外にもたくさんあるので、興味のあるものを一つとると、交流の場にもなりいいのではないかと思う。		



## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
3 年の五月に帰国し、早い人は就職活動をすでに始めている時期なので、私も留学先で少しインターンなどをチェックしていた。就職先も決まっていないので何とも言えないが、焦らず、留学期間中はその貴重な期間を楽しんでもいいのではないかなと思う。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	語学学習
	4月～7月	語学学習
	8月～9月	TOEFL に向けた伴経
	10月～12月	学内選考出願
留学開始年	1月～3月	学内選考通過
	4月～7月	渡航準備
	8月～9月	渡航
	10月～12月	中間試験や期末試験、冬休み
留学/帰国年	1月～3月	冬休み、春学期開始
	4月～7月	中間試験や期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

テンブル大学を選んだ理由は、私が学びたかった政治科学の授業が充実していたのと、選考基準が自分の成績にあったからである。また、ニューヨークに近く大学の周辺もシティで遊びも勉強も両立できると思ったからです。テンブル大学の教授、スタッフは本当に素晴らしい人ばかりで、何か不安があってもサポートの受け皿が確立しているので安心して学校生活を送ることができます。私が住んでいたのはテンブルタワーという寮でしたが、私のいた 3 回は留学生がほとんどで、交流がかなり盛んにおこなわれていました。特にルームメイトと一緒にご飯を作って一緒に食べるというたわいもない日々が本当に幸せでした。大学周辺は電車で 15 分くらいのところにセンターシティがあり、基本的になんでもそろいます。学校の近くにも徒歩で行けるスーパーがあるので、自炊することもできます。(私はミールプランを使っていませんでした)。あじあ料理が恋しくなるとよく言われますが、センターシティにあるチャイナタウンでアジアの食材を買いそろえていたので、食には困りませんでした。ただ、フィラデルフィア自体の治安はよくありません。銃撃もかなり多くありました。警備員もたくさん配備されていますが、一人で行動するのは避けるべきだと思います。

留学中ハプニングはありましたが、つらいことは一つもなく、帰国したくなさ過ぎて、帰国時にたくさん泣きました。そのくらい、私の人生の中で素晴らしく貴重な経験でした。私はこの機会に恵まれて本当に幸せだったと思います。授業を受ける中でたくさんの刺激を受けました。今まで知らなかったことをたくさん学びました。留学に少しでも興味があれば、チャレンジしてみることをお勧めします。